

アレルギー性鼻炎(花粉症も)

アレルギー性鼻炎とは

- アレルギー性鼻炎の症状は透明のさらっとした鼻水、鼻づまり、発作的で連発するくしゃみなどを症状とします。目のかゆみなどアレルギー性結膜炎を合併することもあります。
- アレルギー性鼻炎には、スギ花粉やヒノキ花粉などが原因となる「季節性アレルギー性鼻炎(花粉症)」と、ダニ・ハウスダストなどが原因となり年間通して起こる「通年性アレルギー性鼻炎」とがあります。

子どもでは

- 近年スギ花粉症などのアレルギー性鼻炎は増加し、発症年齢も低年齢化しています(スギ花粉症は5~9歳で約30%)。こどもは風邪もひきやすいため、鼻炎になっていることは以外と身近にいる方も気付きにくく、また本人も自覚症状を訴えないことも多いです。特に幼児では鼻水をかまわずに飲み込むため咳をしたり、鼻の下をたえずふいて荒れていたり、口を開けたままの口呼吸になっていることがあります。

アレルギー性鼻炎があると

- 喘息をはじめとするアレルギー疾患の発症リスクが上がったり、コントロールが悪くなったりします。また集中力低下など学力低下に影響があつたりします。スギ花粉・ハンノキ花粉などが原因で毎年同じ季節に起こる「季節性アレルギー性鼻炎(花粉症)」では果物アレルギーを発症したりすることもあります。

治療は

- アレルギー性鼻炎の治療としてアレルゲン(アレルギーの原因)の除去と回避、抗ヒスタミン薬や抗ロイコトリエン薬、鼻噴霧ステロイド薬、アレルゲン免疫療法、手術療法があります。

アレルゲン免疫療法について

- この中でもアレルゲン免疫療法は数年にかけた治療になりますが、アレルギー性鼻炎の根本治療として注目されています。最近では舌下免疫療法が小児でも行えるようになり(治療薬の錠剤を舌の下に置くことを1日1回行います。現在日本ではダニとスギの製剤があります。)当院でも治療を始めた子ども達が、毎日頑張っています。